

# 東日本大震災

## 被災者救援に全力を上げます

3月14日

### 区長に緊急申し入れ

翌日には震災相談窓口設置  
高齢者の家具散乱の片づけ支援も実現

東日本大震災は、国難ともいえる未曾有の大災害です。国・自治体と国民が総力を上げ、支援・復興に取り組むことが求められています。日本共産党も、現地での救援活動と全国で救援募金活動など全力で取り組んでいます。

議会中に大震災が発生しました。日本共産党議員団（6名）は、緊急事態を重視し、審議時間を大幅に短縮するとともに、震災問題の集中審議をおこない、議会をすみやかに閉会することを幹事長懇談会で提案、全会一致で合意され、党区議団の提案通りに運営されました。

世帯で、地震によって家具や食器が散乱した片づけ支援も実施されています。

#### 被災者の受け入れ準備を

党区議団は3月14日、被災者の受け入れ体制と、あらゆる支援強化とともに、区民相談窓口の設置、高齢者、障害者への片づけ支援など6項目の緊急申し入れを行いました。翌日には、「震災相談窓口」が5つの総合支所に設置され、たくさんの方々が相談に訪れています。また、3月22日から高齢者や障害者

被災者の受け入れを国や東京都に申し入れるとともに、区としても受け入れ準備をするよう求めたのに対し、「区立住宅などの空き家を活用できないか検討している。国や都と協議しながら支援を検討する」と答えました。

10戸の区民向住宅の提供、スポーツセンター、旧芝浦小学校で受け入れる準備をすすめています。

「簡単にできる節電」などを知らせる広報みなどの発行を

3月17日の区議会幹事長会で日本共産党区議団は、「震災相談窓口」設置や、部屋の散乱の後片付け応援、誰でもできる家庭の「簡単節電」などを「広報みなど」（震災特集号）で区民にお知らせするよう提案しました。



震災も含め、お困りごとは気軽ににご相談ください

日本共産党港区議団 ☎ (3578) 2945

みなと民報 2011年4月号外  
発行 みなと民報社 港区海岸2  
-4-12 責任者 栗橋伸次郎

日本共産党港区地区委員会は、以上の見解を発表しました。

### 被災者救援募金を取り組んでいます

救援募金の送付先は以下の通りです

郵便振替口座 00170-7-98422

口座名義 日本共産党中央委員会

\*振替用紙の通信欄に「地震救援募金」と明記してください。  
なお、手数料はお支払いください。

# 被災者支援、帰宅困難者対策等の強化を

## 震災対策の集中審議での党議員団の質疑



ビルから避難してきた人たち

家屋などの被害に  
小災害見舞金を

区に適切に対応

区内でも地震で住宅の  
カベが落下するなど被害  
害が出ていた実態を示し  
区の「小災害見舞金制度  
を適用」させるべきだと  
質問しました。

区は、住宅に被害を受  
けた場合や、ケガをされ  
た場合には、警察・消防  
などの情報を基に、必要  
な調査の上で「適切に対  
応する」と答えました。

帰宅困難者対策を  
急げ

超高層ビルの乱立によ  
る一極集中が帰宅困難者  
を大量に生み出しており  
帰宅困難者対策を強化す  
るよう質問しました。

区は「今回の状況を検  
証し必要な対策を進める  
(企業などは)組織で対  
応することが原則なので  
自主的な震災対策を促進  
する」と答えました。

保育園に防災頭巾の  
備えを

保育園児の安全のため  
防災頭巾を備えるよう提  
案しました。区長は、今  
回の震災を踏まえ、「効  
果的な対策を検討する」  
と答えました。中野区な  
どでは前から備えられ  
ています。



学校に夜間も人の配  
置を

東日本大震災は昼間だっ  
たので、学校には先生や  
職員がおり、近隣の方や  
帰宅困難者が避難できま  
した。しかし、夜間に大  
災害が発生したら機械警  
備では対応できません。  
夜間も人を配置するよう  
提案しました。教育長は、

### 震災関係の 中小企業融資（無利子）

地震により大きな影響を受けて  
いる区内中小企業を支援するため、  
融資が新設されます。

〈対象〉 事業拠点が被災した  
区内企業、被災地域にある企業と  
取引のある企業

#### 〈融資内容〉

斡旋期間 6月30日まで  
融資限度額 500万円以内  
資金使途 運転資金、設備資金  
企業負担利率 無利子(区が負担)  
貸付期間 5年以内  
信用保証料は全額補助

地震の影響で家庭から発生した多量  
のごみや粗大ごみは、  
みなと清掃事務所に相談ください。

☎3450-8025

港区役所は

☎3578-2111

震災時、学校からの  
帰宅は、安全第一の  
対応を

今回の大地震で帰宅を  
急ぐ人が道路に殺到しま  
した。その中を中学生と  
いえども帰宅させること  
が良いのか「検討すべき」  
と提案しました。教育委  
員会は、児童・生徒の安  
全を優先し、校長の速や  
かな判断と指示のもと、  
「学校待機など確実な手  
段を講じるよう指導して  
いく」と答えました。

区長部局とともに、「な  
お有効な方法等を検討す  
る」と答えました。